



豪援隊かわら版

6 月号



[著者]

清水ヒデキ 豪援隊長
弁護士・移民コンサルタント
(MARN:9900985)

「オーストラリアから日本を援けよう」と豪援隊発足。16歳で単身オーストラリアに留学。その後、ボンド大学を卒業し、QLD州弁護士資格取得。長年に渡り、日本人ならびに日系企業、世界各国のクライアントのコンサルタント業務に従事。



インデックス

- 今月のジョーク 1
- 今月の名言 1
- 今月の視点
- 今月のドヤ顔雑学 1
- 今月のドヤ顔雑学 2
- 今月のジョーク 2
- 今月のジョーク 3
- 今月のお知らせ



<http://zoesangels.org/>
Go オーストラリアグループは、Zoe's Angels「Zoeの天使たち」を支援しています。

Go Australia
Visa Consultant

Go Australia Concierge
Shimizu Kokusai Law
Office

Conveyancing Home
QLD

Injury & Accident
Lawyers



今月のジョーク 其の巻 (ジョーク集より)

飲んべえが3人、いつものように酒場で飲んでいました。アイルランド人がぼつりと言いました。「実は、俺はもうすぐ病気で死んでしまうんだ。俺が死んだら、俺の墓場にこの銘柄のウイスキーをグラス一杯かけてくれないか？」イギリス人はこう答えました。「ああ、もちろんだとも。毎年命日には必ずかけてやるよ」スコットランド人が言いました。「俺もかけてやるよ・・・ただ、腎臓を一回通してからでいいかな？」

今月の名言 其の巻 (名言集より)

In the middle of difficulty lies opportunity.

(困難の中に、機会がある。)

Albert Einstein (1879-1955年)
アインシュタイン - 理論物理学者、ノーベル物理学賞受賞

今月の視点 「異常気象」

「例年よりも寒いですよええ。やはり、異常気象ですかね。」「今年の夏は特に暑いですよええ、やはり温暖化の影響ですかね。」最近、どこに行っても聞かれるのは世界中の異常気象についてです。実際に人類がこの地球に現れてから、400万年以上。地球の存在している年月からくらべれば、ほんの微々たる期間でしかありません。そのため、現在巷間でささやかれている「異常気象」が本当に「異常」なのか、はたまた地球がその長い存在の中で迎えている変化の一端でしかないのか、残念ながらよくわからない気がします。しかし、今までの地球での歴史において現代人が今までにはないペースで化石燃料を燃やし、地球にある資源を燃料化しているということを考えますと、それに対する何かしらの結果が現れることは当然といえます。どちらにしても、クィーンズランドに雪が降るなんて、確かに異常気象かもしれませんが、現代では「異常気象」であることが「正常」な状態であるのかもしれないですね。

6月は特に「嵐の幕開け」という表現がピッタリであった月でした。オーストラリア各地で、この時期には珍しい大雨が続き、いろいろな被害を被りました。天災による被害の惨状を見るたびに、人間の無力を改めて感じるのは筆者だけでしょうか。

オーストラリア選挙戦の嵐

オーストラリア2大政党によるのしり合いが、相変わらず続いております。恐らく、このかわら版を皆さまにお読みになっていただくころには、既に今回の選挙結果も出てしまっているのではと思いますが。。この記事を書いている現時では、まだ選挙戦中でその結果はわかっておりません。失礼ながら、この選挙を喧嘩と例えて、それぞれの政党の戦い方を見てみると、圧倒的に喧嘩のうまさとしては労働党の党首ショーテン議員の方が、上手だと思われれます。自党である労働党の掲げるマニフェストの内容はひどいもので、財源のない絵に描いた餅政策であるのにも関わらず、与党が提案していると思わせている「メディケアの民営化」を利用したネガティブキャンペーンや、連立党は嘘つきだという過去の連立党のしてきた矛盾を感情的に訴える選挙キャンペーンは実に功を奏しているようです。もちろん、現ターンブル首相も「絵に描いた餅」状態である労働党の主張を、現実問題と照らし合わせて理屈的にその無理を説明していますが、残念ながら感情的なメッセージの方が、理屈的、論理的なメッセージより人々には受け入れられやすいようです。政策の内容、過去の実績という観点から冷静に判断すると連立党の方が、的を得た、現実的な政策を発表しておりますが、後述のイギリスのEU離脱の時もそうなのですが、人間、割と感情的な生き物であるため、今回の選挙結果も政権交代するのではと、選挙前のとある早朝に考えながら、この原稿を書いております。

気候での嵐の幕開け

冬のオーストラリアで大雨が降ることは、かなり珍しいのですが、6月はオーストラリア各地で嵐による大雨をもたらしました。そういった際にはゴールドコーストでは、いつものように海岸の浸食が問題となり、あのきれいなゴールドコーストビーチが流されてなくなってしまうなんていうこともよくあります。しかし、今回はシドニー周辺の海岸の土地でもそうした砂浜浸食が問題になったことがニュースで大々的に取り上げられておりました。家の裏庭がビーチに面しているなんて、夢のようなお家ですが、そのお家の素敵な裏庭が嵐の後に流されてしまったそうです

おそらく、何十年に一度の出来事なのかもしれませんが、ここでも自然の恐ろしさを感じざるを得ません。

イギリス EU 脱退の嵐

6月の一番の大嵐はこの話題であったかもしれません。EU脱退を決める国民投票に関して、大半の見方は脱退はまずないであろうということでした。しかし、それが蓋を開けてみたら。。。

イギリスにとってEUは、人間に例えたとしたら、すでに正式に結婚をして今まで連れ添ってきた大事なパートナー。EUがあるからこそ、ここ最近のイギリスの経済回復や活況があったとされても否定のしようがありません。そこに、一部の人が「イギリスよお、お前EUと一緒にだから、自由はなくなったし、他の国からも移民受け入れなきゃいけないし、お金も毎月いれなきゃいけないし大変だろお。離婚しちゃえよ、お金を入れる必要もないし、移民も受け入れなくていいし、身軽になろうぜ」という悪魔のささやきが大部分のイギリス国民に訴えてきてしまったから、さあ大変。その悪魔のささやきに対して、イギリス国民が「そりゃあ、そうだね、それもいいか。」という気になってしまったことから、思わぬ結果を生むことに。EUという伴侶は、現在ドイツが中心に動いているような部分もあり、それを嫌うイギリスという図式があるのも否めません。経済的にも政治的にも、現在のイギリスはEUとの関係が非常に重要なものです。しかし、今回はイギリス国民の大半が小言ばかり言われる結婚生活より、自由気ままな「独身生活」を選択するという、頭より感情で動く国のあり方が、ここでも顕在化した気がします。確かに「独身生活」は楽しそうだけど、将来の子供たちのことを考えると口うるさい奥さん、いやもといEUとの結婚生活を愚痴をこぼしながら続けて行く方が、将来的にはいいのでは、世界情勢がいろいろと個人的なことも考えさせられる出来事でありました。。。

今月のドヤ顔雑学

(雑学集より)

其の壱 - ウィンナーとソーセージの違い

「ソーセージ」とは腸詰め食品全般の事をいい、「ウィンナー」とは、正確には「ウィンナーソーセージ」で、ソーセージの一種になり、一般的に羊とヤギの腸を用いたソーセージのことをいうようです。

日本生協連合会さんでは「ウィンナー」を以下のように定義しています。

1. 原料肉に畜肉(臓器類を含む)を使用している事。
2. 魚肉、鯨肉の割合が15%未満である事。
3. つなぎ(結着副原料)の総比重割合が15%以下である事。
4. 羊腸を使用しているか、製品の太さが20ミリ未満である事。

其の弐 - WHISKY と WHISKEY の違い

ウイスキーのアルファベット表記には「WHISKY」と「WHISKEY」の二通りがあり、「WHISKY」はスコットランドのお酒「スコッチ」を指し、KとYの間にEがある「WHISKEY」は、アイルランドのお酒をあらわしている。



今月のジョーク

(ジョーク集より)

其の弐 - 妻の誕生日

夫「明日、誕生日だな。お前の行きたい所へ連れてってやるよ。どこがいい？」

妻「ありがとう！じゃあ、今まで私
があまり行ったことの無い場所が
いいな。」・・・翌日。



夫は妻の手を引くと、台所へ連れて行った。

其の参 - 良い知らせと悪い知らせ

親友から携帯に着信。出ると、ひどく慌てている。

親友「お前に悪い知らせと良い知らせがある。」

オレ「何だよ、突然。」

親友「落ち着いて聞いてくれ。まず、お前の奥さんが事故に遭った。」

オレ「えっ！で、悪い知らせは？」

親友「えっ！？」

今月のお知らせ

労働災害や自動車事故、公共施設でのケガ等に対する賠償請求を法的に手続き代行する部門、[Injury and Accident Lawyers](#) (インジュリー & アクシデント法律事務所)を開設いたしました。日本語専用番号も設置しておりますので、ケガや事故に遭われた際はお気軽にお問い合わせください。

- ✓ No Win, No Fee (成功報酬制) ✓ 24時間対応
- ✓ 日本語サービス ✓ 初回相談無料 ✓ 出張サービス
- ✓ ブリスベン & ゴールドコースト事務所

日本語: 0478-012-409 | 英語: 1800-438-4357



ゴールドコースト事務所

Suite 222, Level 2, Watermark Hotel & Spa
3032 Surfers Paradise Blvd, Surfers Paradise QLD 4217

ブリスベン事務所

Level 5, 262 Adelaide St, Brisbane QLD 4000

E: info@goaustralia-visa.com

<電話でのお問合せ>

オーストラリアから: 07-5570-4542 (月~金 9:00-17:00)
日本から: 03-4283-8484 (日本時間 月~金 8:00-16:00)

www.goaustralia-visa.com